

(5) 農 林 水 産 業 費

事業名	農山村滞在及び定住促進事業		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成 18 年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	産業振興 部	農林水産 課		目	02	農業総務費	
事業費 (A)		1,025,561 円	事業の目的・目標	過疎・高齢化の進行する市内の農山漁村集落を重点に、都市部のU・Iターン希望者の移住を促進する。 目標は、10年間で200人の移住者確保 ◆実績：平成18年度～平成24年度 194人			
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	1,025,561 円					
	地方債	円					
	その他	円					
一般財源	円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

農山漁村に増え続ける空き家と、農林水産業を中心とした企業・法人等の求人情報をセットで提供することによって、都市部の人材を本市へ移住させることができる仕組みを構築する。

○事業の実績

●移住実績

- ・空き家登録の件数：42件
- ・空き家活用等による移住者：14件・34人

●その他の主な実績

- ・県主催のU・Iターンフェアにて相談ブースを開設
- ・空き家登録の促進のため、固定資産税通知に合わせて市外在住の空き家等所有者に対するチラシの配布を実施

○事業の効果

- 定住相談の9割は、江津市空き家情報提供システムを介しての相談であり、移住の動機づけとなっている。
- 市役所内に開設されたハローワーク浜田の出先事務所・ワークステーション江津との連携体制を構築しており、定住希望者の就職支援を行っている。



UIターンフェア(東京会場)の様子

物件外観

物件概要

種別	物件番号	205
築年数	売却価格	~730万円
構造	固定資産税	不成平額建て・7DK
築年数	備品	不費 大規模な修繕は不費
入居条件	賃料	特になし
管理形態	管理形態	
敷金		

空き家バンク昨年度登録物件の一例

事業名	みんなでつくる有機の郷事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成 23 年度	事業進捗率	%		項	01	農業費
担当部署	産業振興 部	農林水産 課			目	03	農業振興費
事業費		1,239,000 円		事業の目的・目標	①県内産有機農産物等の販路開拓及び販売拡大 ②県内における有機農業の新規就農者の受入れ・育成及び経営基盤の整備 ③県内における有機農業の面的拡大		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		1,239,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

有機農業実践支援事業

有機農業の本格展開や規模拡大に対する支援 (県補助：1/3 市補助：1/6)

○事業の実績

(単位：円)

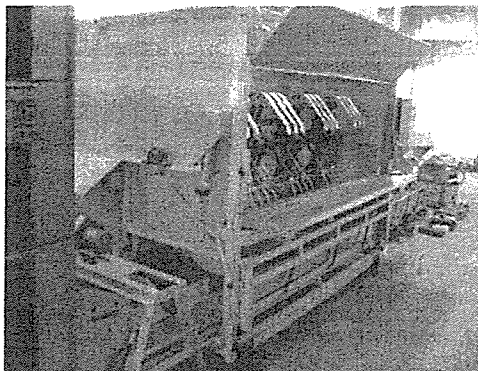
実施主体	事業内容	事業費	負担区分		
			県(※)	市	自己負担
有限会社 スプラウト島根	乾燥機1台を導入し、品質の向上と生産量の確保を図る。	5,958,750	1,891,000	945,000	3,122,750
新規就農者1名	営農開始に必要な農業機械を導入し、生産基盤の整備を図る。 導入機械：トラクター、播種機、フレールモア、ゴボウ収穫機、管理機等	1,764,903	588,000	294,000	882,903

※県より事業主体に直接交付

○事業の効果

有限会社スプラウト島根

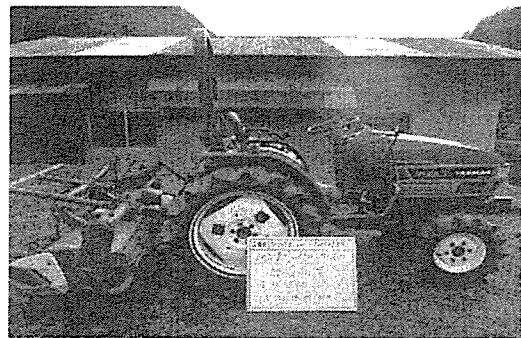
本事業により乾燥工程の効率化を図ることで、日量乾燥物が240kgから300kgへと増加し、品質を向上させた乾燥製品の生産量拡大を図る計画。



【H25.3.15乾燥機納入】

新規就農者1名

本事業により生産基盤の整備が図られ、平成25年4月から2.5haの農地にて営農開始。



【H25.1.30トラクター納入】

事業名	有害鳥獣被害対策事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	産業振興	部	農林水産		課	目	03	農業振興費
事業費 (A)			12,698,547 円		事業の目的・目標	鳥獣による被害の予防や有害鳥獣の捕獲を行うことにより、農業生産の持続と農地の遊休化防止、集落の生活環境の保全に努める。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債			円				
	その他			円				
	一般財源			12,698,547 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●捕獲事業

有害鳥獣捕獲班を編成し、イノシシ、サルなど農作物等に被害を及ぼす有害鳥獣を捕獲する。

●防護柵等設置事業

有害鳥獣による被害防止を図るため電気柵や金網フェンス等の資材費助成を行う。

●鳥獣被害防止総合対策交付金事業

農林水産省補助事業「鳥獣被害防止総合対策交付金事業」に取り組む江津市鳥獣被害対策協議会に対し、負担金等を支出し、将来に安心して農業に取り組める鳥獣被害防止施設の整備並びに地域ぐるみの鳥獣被害対策の確立を図る。

⇒総事業費：19,752,370円

国：10,376,000円

市：7,524,000円

受益者負担金等：1,852,370円

○事業の実績

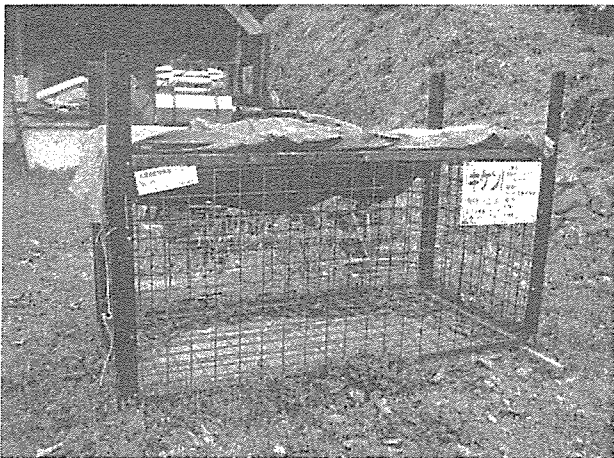
(単位：円)

事業名	区分	内容	事業費
捕獲事業	有害鳥獣捕獲	イノシシ364頭、サル48頭、カラス175羽、ヌートリア53匹	3,472,500
	捕獲活動	被害対応等に係る出勤延べ49名	122,500
	捕獲活動条件整備	ハンター保険、狩猟登録料助成他	1,081,547
防護柵等設置事業	防護柵等設置	受益戸数16件	498,000
鳥獣被害防止総合対策事業	推進体制整備	江津市鳥獣被害対策協議会開催1回、事務費	7,524,000
	個体数調整	捕獲器調達(イノシシ用5基) イノシシ利活用促進	
	被害防除	先進地視察研修	
	広域的防護柵整備	総延長30,241m(11地区)	
計			12,698,547

○事業の効果

- 捕獲事業の実施により、有害鳥獣の個体数増加に歯止めをかけており、被害の軽減に寄与した。
- 狩猟登録の助成等により市の捕獲班の確保に努めた。
- 牛の放牧による緩衝帯の設置により、獣害の温床となる耕作放棄地の解消及び鳥獣被害の軽減が図れた。

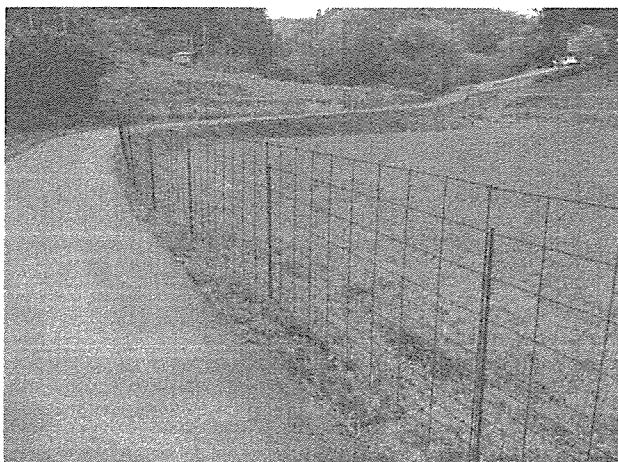
【イノシシ捕獲檻設置】



【イノシシ肉利活用促進（ふるさとフェア）】



【集落住民参加型の直営施工による防護柵整備】



事業名	中山間地域等直接支払事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成 22 年度	事業進捗率	60 %		項	01	農業費
担当部署	産業振興 部	農林水産 課			目	03	農業振興費
事業費 (A)		12,915,306 円		事業の目的・目標	中山間地域の農地を適切に管理し、耕作放棄地の発生防止や多面的機能（洪水防止や水源の涵養、美しい景観）の確保を図るために、平地との生産コスト差に相当する交付金を交付し、中山間地域の農業生産活動の継続を図るための支援。協定数・協定面積の増加を目標に、高齢化や担い手不足等により活動困難が予想される集落協定については近隣との合併を進める。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金	3/4	9,739,961 円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		3,175,345 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 急傾斜地 「田」 傾斜1/20 21千円/10a 「畑」 傾斜15度 11.5千円/10a
- 緩傾斜地 「田」 傾斜1/100 8千円/10a 「畑」 傾斜 8度 3.5千円/10a
(※基礎活動への取組の場合は、上記単価の8割)

○事業の実績

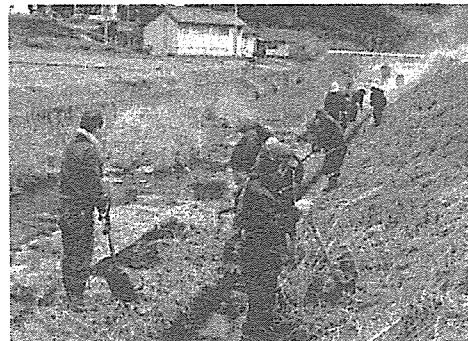
- 協定数 26協定 (集落協定 25 ・ 個別協定 1)
- 協定農用地 129ha (田 103ha ・ 畑 26ha)
- 事業費内訳 12,915,306円 (交付金12,329,306円+推進費586,000円)
(※交付金は、国費と県費は市を通して交付。)

○事業の効果

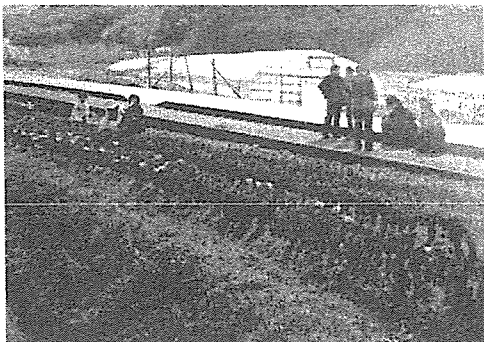
第3期対策(H22年度～26年度)の中間年度となった。上記の協定農用地が荒廃することなく適切に管理され、農地の持つ多面的機能を発揮している。集落の農地は集落で守るという各集落協定参加者の意識も定着し、新たに集落協定に参加する生産者を迎え入れた集落も出るなど、各集落で積極的な活動が行われている(写真は「波積本郷」地区の取り組み)。



「共同作業による育苗作業」



「共同作業による、水路管理」



「景観作物(チューリップ)の作付け」



「共同作業による病害虫防除」

事業名		農地・水保全管理支払事業			予算科目	会計	01	一般会計
事業開始年度		平成 19 年度	事業進捗率	%		款	06	農林水産業費
担当部署		産業振興 部	農林水産 課			項	01	農業費
事業費 (A)		5,457,654 円				目	03	農業振興費
財源内訳	国庫支出金				事業の目的・目標	過疎化、高齢化等の進行に伴い集落としての機能が低下し、農村地域での農地・水・環境の保全管理が困難となっている中で、地域ぐるみでの農地及び農業用排水路の補修・更新や保全管理と環境に配慮した地域の活動を支援し、地域資源の保全と農村環境の質的向上を図る。		
	県支出金	148,000 円						
	地方債	円						
	その他	730,000 円						
	一般財源	4,579,654 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●共同活動に対する支援

農地・農業用水等の資源の良好な保全と質的向上を図る地域ぐるみでの効果の高い共同活動への支援を行う。

対象農用地面積に乗じて得た金額を交付する。「田 3,300円/10a・畑 2,100円/10a」

●向上活動に対する支援

老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新等を行う取組への支援を行う。

対象農用地面積に乗じて得た金額を交付する。「田 4,400円/10a・畑 2,000円/10a」

○事業の実績

●事業の総事業費 19,567,085円（内訳：国費9,406,290円＋県費4,703,141円が地域協議会から直接交付＋市5,457,654円）

●協定組織数（共同活動取組組織：15組織、向上活動取組組織：6組織）

●協定農用地（共同活動交付対象農用地 375ha：田 327ha・畑 48ha）

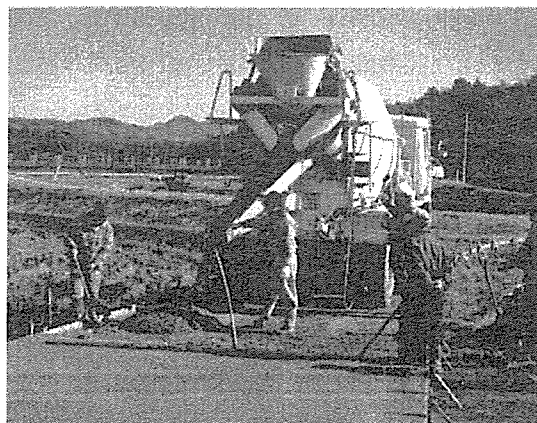
（向上活動交付対象農用地 165ha：田 155ha・畑 10ha）

（共同活動）畦畔・農用地法面の草刈りの様子

（向上活動）未舗装農道のコンクリート舗装の様子



（羽代ふれあい21）



（つちかかしの会）

○事業の効果

この制度も6年目で、共同活動は2期対策がスタートし、向上活動については第1期対策の2年目を迎え、引続き各組織で適正に農用地が保全管理されており、また、老朽化が進む農業用施設の長寿命化のための補修・更新等も進んできた。

事業名	農林水産振興総合事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	産業振興	部	農林水産		課	目	03	農業振興費
事業費 (A)			11,127,938 円		事業の目的・目標	道の駅における直売所の運営を通じて3つの拠点化を図る。 ①農業生産の意欲向上や、加工グループの活性化を促す「生産振興の拠点」 ②新鮮で顔の見える野菜を地元消費者に提供する「地産地消の拠点」 ③農産物や特産品だけでなく観光や文化など江津の魅力を発信する「PRの拠点」 これにより耕作放棄地の解消、高齢者の生きがい対策、食育の推進、特産品の開発など本市における農業振興の課題に取り組むため、県事業を導入して必要な支援を行う。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金	1/2, 1/3		6,498,000 円				
	地方債	100%		600,000 円				
	その他			円				
一般財源			4,029,938 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績 (単位：円)

事業主体	事業内容	事業費	事業に要する経費(県+市)	負担区分		
				県	市	その他
江津市	直売所を拠点とした地産地消の推進	1,275,938	1,275,938	596,000	679,938	0
いわみ中央農業協同組合	パイプハウス整備	2,200,000	1,099,000	733,000	366,000	1,101,000
島根おおち農業協同組合	集出荷調整施設	17,000,000	8,500,000	5,000,000	3,500,000	8,500,000
いわみ中央産直協議会	加工用備品整備	508,200	253,000	169,000	84,000	255,200
合計		20,984,138	11,127,938	6,498,000	4,629,938	9,856,200

●直売所を拠点とした地産地消の推進 <事業主体：江津市>

[内容]

地産地消推進による農業振興と地域の活性化を図る。

- ・生産者の技術力アップと意識向上のための生産者研修会 101,599円
- ・ニーズに合った安定供給を図るための野菜等栽培実証事業 194,773円
- ・直売所の魅力をアピールし地産地消の推進を促す広報等による啓発 979,566円

計 1,275,938円

[効果]

- ・直売所販売額(全体) 130,108,584円 (前年比107%)
- ・登録会員数 312人 (33人増)
- ・学校給食販売額 4,398,894円



[ジャム作り講習会]
(ブルーベリー
ジャム作り)

●パイプハウス整備事業 <事業主体：いわみ中央農業協同組合>

[内容]

直売所へ出荷する生産者を対象にハウス施設を整備し、需要に応じた地元野菜の安定供給を図る。

- ・パイプハウス3棟2経営体

計 1,099,000円

[効果]

- ・直売所産直品販売額(野菜類) 32,789,956円 (前年比117%)
- ・1月(最も野菜が不足する月)の野菜販売額 1,923,301円 (前年比128%)

●集出荷施設整備事業 <事業主体：島根おおち農業協同組合>

[内容]

桜江地区の農作物を有効に集荷し、一時保管と品質や規格の調整、及び一時保存と品質や規格の調整により、直売所と給食センターへの適切で効率的な出荷調整を図る。

- ・農産物集出荷調整施設建設

計 8,500,000円

[効果]

- ・直売所産直品販売額 83,732,669円 (前年比113%)
- ・学校給食産直割合 33% (5%増)

●加工備品設備整備事業 <事業主体：いわみ中央産直振興協議会>

[内容]

直売所出荷用加工品のための備品・設備の整備を行い、品揃えの充実と地元加工グループの活性化を図る。

- ・1経営体1設備導入助成
真空包装機1台

計 253,000円

[効果]

- ・直売所産直品販売額(加工品) 30,102,499円 (前年比103%)

事業名		農林水産物直売所支援事業			予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成	年度	事業進捗率		%	款	06	農林水産業費
担当部署		産業振興 部		農林水産		課	項	01	農業費
							目	03	農業振興費
事業費 (A)					事業の目的・目標	直売所を拠点とした生産振興と地産地消、情報発信の取り組みを進めるために、直売所の安定経営と維持管理に必要な経費を負担し、効率的な活用を図る。			
財源内訳	国庫支出金	12%	8,945,313 円						
	県支出金		858,947 円						
	地方債		円						
	その他		1,730 円						
	一般財源		8,084,636 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

(単位：円)

区分	金額	内容
指定管理者に委託する施設の維持管理に関する経費	3,500,000	・指定管理委託料（トイレ清掃・データ通信・警備保障等） 3,500,000
その他経費	5,445,313	・浄化槽管理委託料（国88% 市12%） 1,034,880 ・イベント経費（謝礼・警備・広報・消耗品） 1,155,798 ・その他（管理費・工事費・生産者研修費等） 3,254,635
計	8,945,313	

○事業の効果

平成24年度

- ・来場者数 131,056人 (前年比107%) *レジ通過者数
- ・直売所販売額(全体) 130,108,584円 (前年比107%)
- ・登録会員数 312人 (33人増)
- ・学校給食販売額 4,398,894円 (地産地消率33%)

道の駅開設後3年が経過し、道の駅が持つ3つの機能（休憩機能・情報発信機能・地域の連携機能）を発揮し、多くの住民と通行客・観光客の利用があった。

また、その内の農林水産物直売所により地産地消や食育の推進を図り、地場製品の消費拡大にも貢献している。



【イベント（加工品コンクール） 25年2月】

事業名		ふるさと農道整備事業（県営）		予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成 21 年度	事業進捗率	%		項	01	農業費
担当部署	建設 部	土木建設 課			目	05	農地費
事業費			23,681,914 円	事業の目的・目標	大邑農道と県道大田桜江線との間にある市道長戸路線L=4.4km区間が、未改良であるため大型車等の通行に支障を来し、この度県営事業で農業農村の振興と生活環境の改善に資する目的でW=5.0m以上の幅員計画（1.5車）で「ふるさと農道整備事業」として整備する。事業実施期間平成21年度～24年度であり、島根県への事業負担金であり、またこの改良に必要な用地費及び補償費についても、島根県へ委託して行う。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債	100%	23,600,000 円				
	その他		円				
一般財源			81,914 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

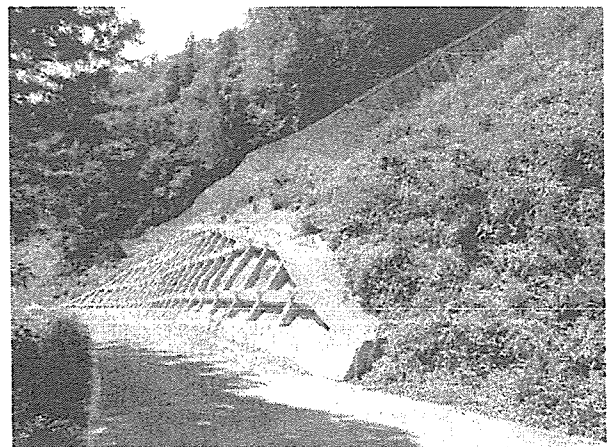
事業実施期間：平成21年度から24年度
 事業施工延長：L=4,400m W=5.0m

単位：円

区分	予算現額	決算額	翌年度へ繰越額	備考
旅 費	57,440	57,440	0	
委 託 料	772,151	772,151	0	
負担金補助及び交付金	22,052,000	22,052,000	0	
補償補填及び賠償金	4,170,323	800,323	3,370,000	
合 計	27,051,914	23,681,914	3,370,000	

翌年度への繰越額

3,370,000円



事業名	経営体育成基盤整備事業（今田地区 県営）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成 20 年度	事業進捗率	92 %		項	01	農業費
担当部署	建設 部	土木建設 課			目	06	土地改良費
事業費		3,401,250 円		事業の目的・目標	本地区の生産基盤は10aの小区画で農道幅員も狭く、用水路の老朽化、冠水被害等で大型機械の導入が困難である。また高齢化により後継者も育たない為耕作放棄地が目立っている。 本事業導入により、地区面積22.1haを50aの大区画、道路及び用排水路整備を行い、大型機械導入により、農業の生産性の向上と認定農業者への農地の集積による担い手の確保及び耕作放棄地の解消を図る。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債	100%	1,900,000 円				
	その他（受益者負担金）		598,000 円				
	一般財源		903,250 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業内容及び実績

区分	事業費	備考
負担金補助金及び交付金	3,382,000	県営事業負担金 2,784,000+受益者負担金分598,000
旅費	19,250	
合計	3,401,250	

○事業費内訳

費目	金額(円)	
本工事費(基盤整備)	11,700,000	暗渠排水工3.3ha、付帯工1式
換地費(基盤整備)	8,000,000	分筆登記8筆、相続登記2件、確定測量25.7ha
本工事費(鳥獣害防止)	7,984,000	鳥獣害防止柵2,227m
工事雑費		
測量試験費		
用地補償費		
事務費		
合計	27,684,000	
国庫支出金 55.0% (50.0)	14,827,000	$19,700,000 \times 0.55 + 7,984,000 \times 0.50$
県支出金 27.5% (32.5)	8,013,000	$19,700,000 \times 0.275 + 7,984,000 \times 0.325$
補償費減免額		
市負担金 10.0%	2,784,000	$(19,700,000 + 7,984,000) \times 0.1 + 15,000$
市負担金(起債・交付金)	1,900,000	$1,970,000 \times 100\%$ (過疎債)
担金(一般財源)	85,000	
公庫 江津市助成 2.5%	686,000	
資金 農家負担金 5.0%	1,374,000	
合計	27,684,000	

○全体計画

実施年度	平成20年度～平成25年度	前年度まで	平成24年度	翌年度以降
事業量	事業費	事業費	事業費	事業費
整地工22.4ha	427,350,000	365,500,000	27,684,000	34,166,000

○補助率及び負担率

基盤整備…補助率及び負担率：国 55.0%、県 27.5%、市 10.0%、受益者 7.5% (内. 市助成2.5%、農家5.0%)
 鳥獣害防止…補助率及び負担率：国 55.0%、県 27.5%、市 10.0%、受益者 7.5% (内. 市助成2.5%、農家5.0%)

事業名	公社造林事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	林業費
担当部署	産業振興	部	農林水産		課	目	02	林業振興費
事業費 (A)			23,097,943 円	事業の目的・目標	社団法人島根県林業公社の分収契約による管理者として事業受託し、造林及び保育に関する事業を実施する。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他	10/10	16,629,387 円					
	一般財源		6,468,556 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

保育事業委託料

施業内容	箇所数	施業面積 (ha)	施業委託料 (円)
切捨間伐	6	38.31	6,251,700
利用間伐	2	14.63	6,132,794
計	8	52.94	12,384,494

工事請負費

施業内容	箇所数	開設延長 (m)	施業委託料 (円)
作業道開設	2	2,525.6	3,918,829

旅費

	(円)
普通旅費	17,700

需用費

	(円)
消耗品	198,536
燃料費	15,228
合計	213,764

役務費

	(円)
通信運搬費	2,000

人件費

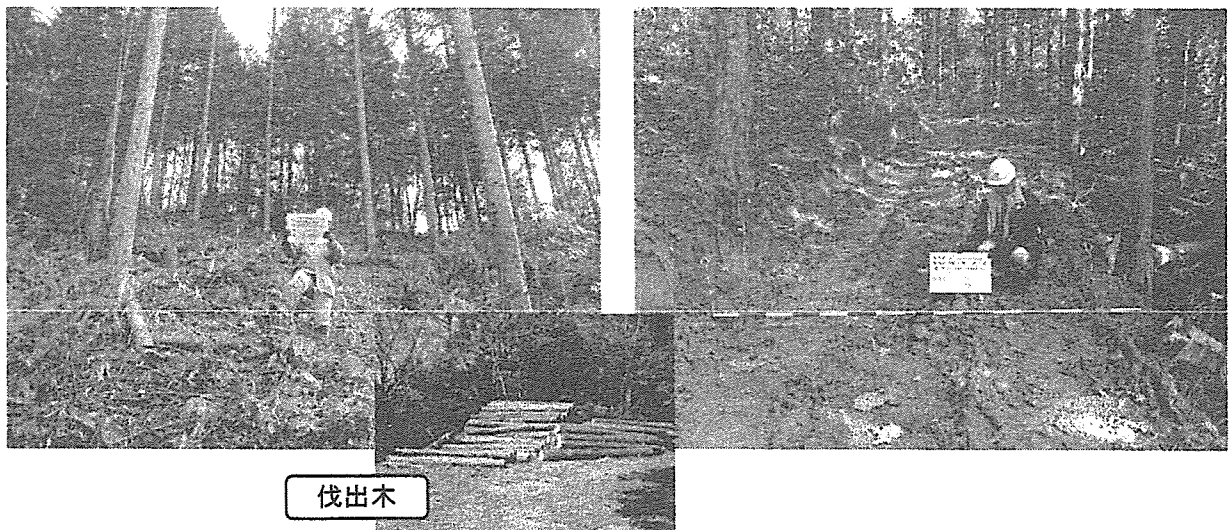
	(円)
人件費	6,561,156

○事業の効果

○保育施策を実施することで、森林の公益的機能・財産価値を高めることができた。

【利用間伐竣工】

【作業道開設工事竣工】



伐出木

事業名		森林整備地域活動支援事業			予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成	年度	事業進捗率		%	款	06	農林水産業費
担当部署		産業振興部		農林水産課		項	02	林業費	
事業費(A)		5,739,690円				目	02	林業振興費	
財源内訳	国庫支出金				事業の目的・目標	森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう適切な森林整備の推進を図るため、森林所有者等による森林施業実施に不可欠な森林の現況調査や作業路網の改良活動等の地域活動を支援する。			
	県支出金	3/4		4,304,775円					
	地方債								円
	その他								円
	一般財源			1,434,915円					円

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

①「森林経営計画作成促進」に対する支援

交付対象者	協定面積 (ha)	交付金額 (円)	県交付額 (円) 3/4	市交付額 (円) 1/4
江津市森林組合	16.00	608,000	456,000	152,000
邑智郡森林組合	85.28	682,240	511,680	170,560
計	101.28	1,290,240	967,680	322,560

②「作業路網の改良活動等」に対する支援

交付対象者	協定面積 (ha)	交付金額 (円)	県交付額 (円) 3/4	市交付額 (円) 1/4
島根県林業公社	952.62	3,810,450	2,857,845	952,605
邑智郡森林組合	159.75	639,000	479,250	159,750
計	1,112.37	4,449,450	3,337,095	1,112,355

○事業の効果

○森林整備に意欲のある島根県林業公社や森林組合に交付金を交付し、森林経営計画作成の促進に資する活動や、作業路網の改良活動を実施。

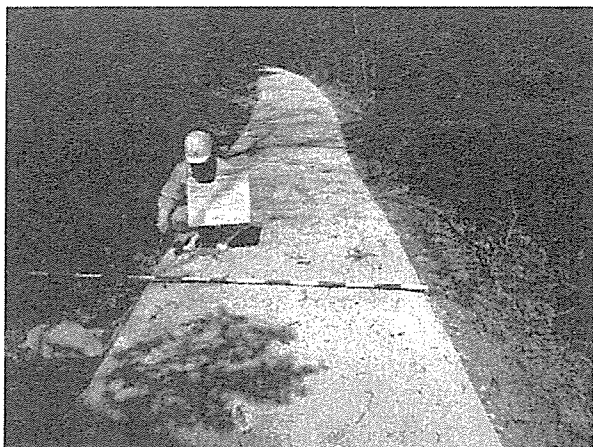
①「森林経営計画作成促進」に対する支援

交付対象者	対象行為	実施面積	単位
江津市森林組合	樹種界測量・間伐同意	16.94	ha
邑智郡森林組合	経営計画作成	159.75	ha

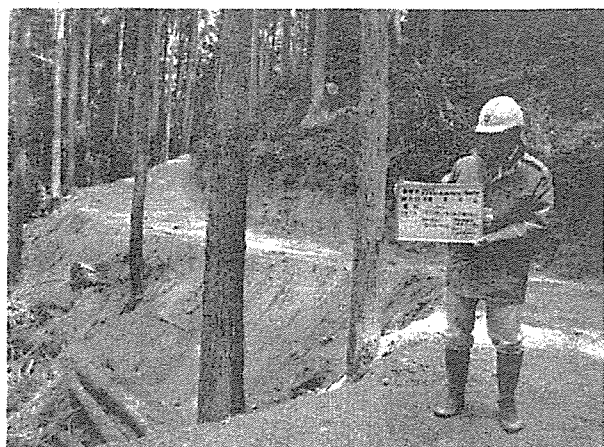
②「作業路網の改良活動等」に対する支援

交付対象者	対象行為	数量	単位
島根県林業公社	作業道改良	3	箇所
邑智郡森林組合	作業道改良	1	箇所

【作業道改良：林業公社】



【作業道改良：邑智郡森林組合】



事業名	森林病虫害等防除事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	林業費
担当部署	産業振興	部	農林水産		課	目	02	林業振興費
事業費 (A)						10,957,622	円	
財源内訳	国庫支出金						円	
	県支出金					7,243,950	円	
	地方債						円	
	その他						円	
	一般財源						3,713,672	円
				事業の目的・目標	森林病虫害等を早期に、且つ、徹底的に駆除し、及びそのまん延を防止し、もつて森林の保全を図ることを目的とする。			

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

森林病虫害におかされた松の伐倒駆除を行う。また、松に殺線虫剤注入し進入直後の線虫を殺したり線虫の増殖を抑止する。

防除方法	松林面積	事業量
衛生伐・不用木等の除去・処理	81.69ha	くん蒸448m ³ 、不用木10m ³
樹幹注入	3.04ha	55本

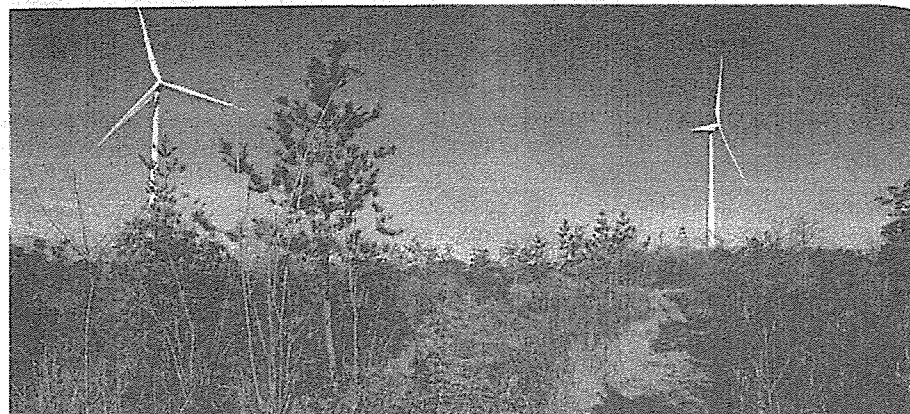
○事業の効果

森林病虫害を駆除することにより、線虫の増殖を防ぐことができた。

着手前



完了



事業名		森林整備加速化・林業再生事業			予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成	年度	事業進捗率		%	款	06	農林水産業費
担当部署		産業振興部		農林水産課			項	02	林業費
事業費(A)		9,274,650円					目	02	林業振興費
財源内訳	国庫支出金			円	事業の目的・目標	地球温暖化防止に向けた森林吸収目標の達成を目的として県に造成された基金を活用し、市有林や市行造林地における間伐や路網の整備と海岸松林、公共施設周辺の森林病虫害の伐倒・くん蒸処理を実施するもの。			
	県支出金	10/10		9,274,000円					
	地方債			円					
	その他			円					
	一般財源			650円					

施策の内容、実績、及び効果

【事業の内容及び実績】

○林内路網整備事業

●林業専用道（規格相当）整備

- ・林業専用道畑田山下山線測量設計業務（松川町畑田） 延長 1,889m
*開設工事は平成25年度に繰越し

●森林作業道整備

- ・森林作業道第2高丸支線開設工事（川平町平田） 延長 659m
- ・森林作業道市行2号線開設工事（桜江町長谷） 延長 1,584m

委託料	(円)
設計委託料	5,650,050

工事請負費	(円)
工事請負費	3,624,000

○事業の効果

- 路網の整備により大型の林業機械や運搬車の走行が可能となり、木材搬出コストが低減した。



事業名		市行分収造林事業			予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成	年度	事業進捗率		%	款	06	農林水産業費
担当部署		産業振興部		農林水産課			項	02	林業費
事業費(A)		12,888,157円					目	03	財産造成費
財源内訳	国庫支出金				事業の目的・目標	木材としての価値を高め、市有財産を増やすとともに搬出間伐等の木材生産を行い、分収契約者に収益を還元する。 森林の持つ公益的機能をより発揮させる。 林業の活性化を図り、林業雇用の場を維持拡大させる。			
	県支出金			5,890,600円					
	地方債	100%		3,000,000円					
	その他			3,997,557円					
	一般財源								

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

保育事業委託料

施業内容	箇所数	施業面積	施業委託料(円)
下刈	1	2.06	336,000
除伐	2	4.50	1,096,200
枝打ち	3	8.53	3,391,500
搬出間伐	2	14.07	5,040,000
造林地調査	1	11.07	215,250
合計	9	40.23	10,078,950

(木材搬出量：604m³)

役務費	(円)
木材搬出手数料	1,902,600

負担金補助及び交付金	(円)
分収金支払	853,301

作業員賃金	(円)
造林監督員賃金	47,500

需用費	(円)
消耗品費	5,806

○事業の効果

- 保育施業を実施することで、森林の公益的機能・財産価値を高めることができた。
- 市有林及び市行造林地において搬出間伐を実施し、販売することで収入を得た。

【枝打竣工】



【搬出間伐竣工】



伐出木

事業名	絆の森整備事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成 13 年度	事業進捗率	%		項	02	林業費
担当部署	産業振興 部	農林水産 課			目	04	森林環境整備事業費
事業費 (A)		1,542,450 円		事業の目的・目標	森林区間整備事業 (H9~13) により、松くい虫により荒廃していた浅利富士周辺 (みんなの森) 83ha の樹種転換を図り、森林整備を行った。本事業では、前事業を引き継ぎ、苗木の保育事業や歩道を設置し、市民が親しめる森として整備する。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金	70%	984,900 円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		557,550 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

○不用木の除去

植栽木の保育事業として、生育の支障となる不用木を除去。

○作業道修繕

一部凹凸のあった作業道の路面を、重機により敷きならした。

委託料

事業内容	事業量	事業費 (円)	内訳	
			県支出金 (円)	一般財源 (円)
不用木の除去 (除伐)	8.50ha	1,407,000	984,900	422,100

需要費

需要費 (円)	
修繕料	135,450
合計	135,450

○事業の効果

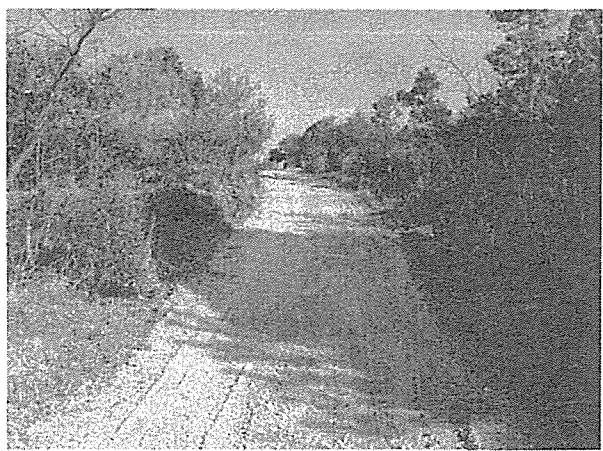
○浅利富士周辺 (みんなの森) において不用木の除去 (除伐) を実施し、市民が親しめる森として整備した。

○雨水により路面侵食を受けていたみんなの森作業道を修繕し、少年自然の家来館者や市民が利用しやすいよう整備した。

みんなの森 (浅利富士周辺)
【不用木の除去状況】



みんなの森 (浅利富士周辺)
【作業道修繕状況】



事業名	現年発生林地崩壊防止事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率	100 %		項	02	林業費
担当部署	建設 部	土木建設 課			目	05	林地崩壊防止事業
事業費		4,498,200 円		事業の目的・目標	平成24年7月5日から6日にかけての豪雨災害により裏山が崩壊し、家屋が被災したため県単林地崩壊防止事業により復旧する。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		1,248,000 円				
	地方債	100%	2,000,000 円				
	その他(分担金)		1,174,730 円				
	一般財源		75,470 円				

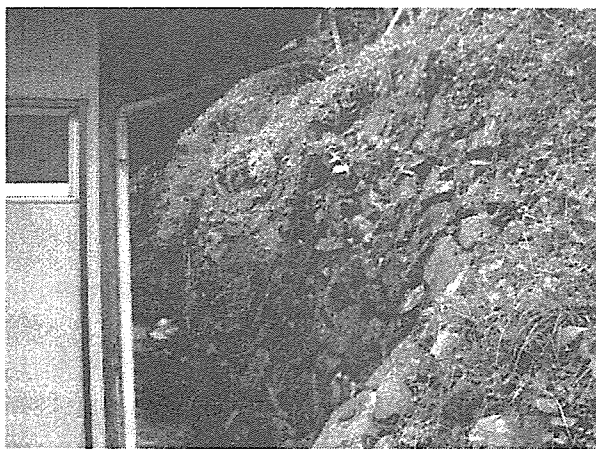
施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

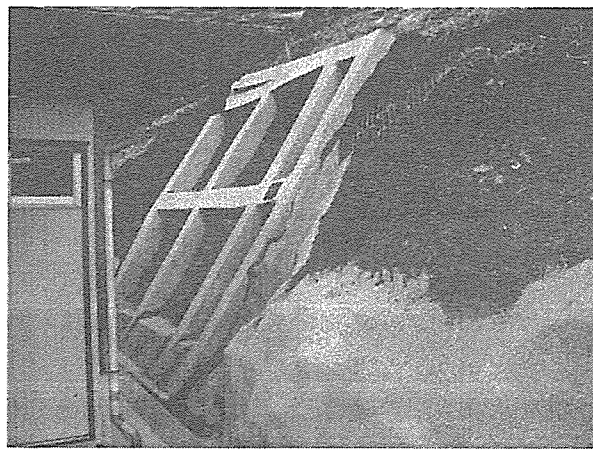
単位：円

区 分	金 額	備 考
委 託 料	892,500	測量設計委託料
工 事 請 負 費	3,605,700	2地区(大佐張、千金)
合 計	4,498,200	

着工前



竣 工



平成24年度県単林地崩壊防止事業(千金)

事業名		栽培漁業地域展開事業		予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成 7 年度	事業進捗率		%	款	06	農林水産業費
担当部署		産業振興 部	農林水産 課			項	03	水産業費
事業費		374,729 円				目	02	水産業振興費
財源内訳	国庫支出金			事業の目的・目標	江津市・浜田市・益田市の3市が一体となって、平成3年以降「採る漁業～つくり育てる漁業」へと資源管理型漁業への移行を目指し、ヒラメを対象とする陸上イケスを設置して中間育成・放流を行い、漁業資源の維持・増大を図る。			
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源		374,729 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

ヒラメの稚魚を購入し、中間育成にて約10cm程度に成長したヒラメの放流を行う。

(円)				
部会事業費	県補助金	国補助金	ファンド	市等負担 (うち江津市)
9,223,268	1,693,000	943,528	2,578,740	4,008,000 (374,729)

地域部会費	150,000	(旅費、需用費、研修会費)
育成管理費	4,771,250	(資料、薬品、電気代、放流借船料)
種苗購入費	4,302,018	(ヒラメ250,000尾、内江津市34,700尾)

○事業の効果

120,000尾のヒラメを放流し (内江津市35,000尾)、県全体で取り組む「採る漁業からつくり育てる漁業」の推進に寄与した。

【PR放流の様子】



事業名		水産振興対策事業			予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成	年度	事業進捗率		%	款	06	農林水産業費
担当部署		産業振興部		農林水産課			項	03	水産業費
事業費(A)		997,920円					目	02	水産業振興費
財源内訳	国庫支出金				事業の目的・目標	減少傾向にある水産資源の回復を支援することにより、水産物の安定的な供給を図る。			
	県支出金								
	地方債	100%		900,000円					
	その他								
	一般財源			97,920円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

減少傾向にある水産資源の回復を支援するために、アワビの稚貝を市で購入し、JFしまね浜田支所江津出張所へ支給する。

アワビ稚貝購入 8,800個

○事業の効果

種苗の生産、育成、放流等の栽培漁業推進のため、水産資源の回復を支援し、水産物の安定的な供給を図った。

【アワビ稚貝】

